

### 3-4 プロジェクトの実施体制

#### 3-4-1 実施機関および運営機関の組織

##### (1) 実施機関

本案件における「ヴィ」国側の管轄機関は MOT であり、具体的な実施遂行については、TTPS-1 が MOT 投資計画局 (Planning & Investment Department) の支援を受けて行う。

(図 3-1 に MOT の組織図を示す)

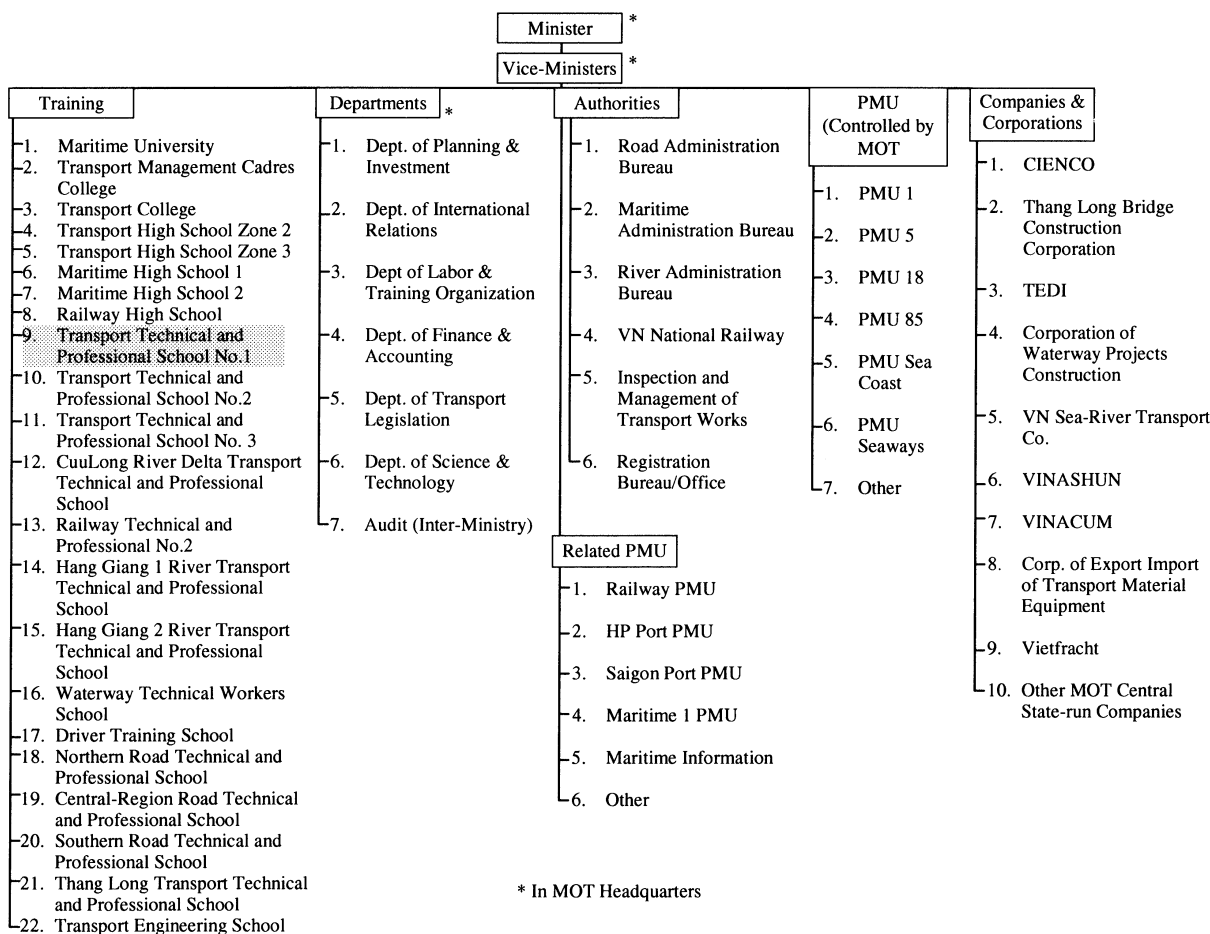


図 3-1 MOT の組織図

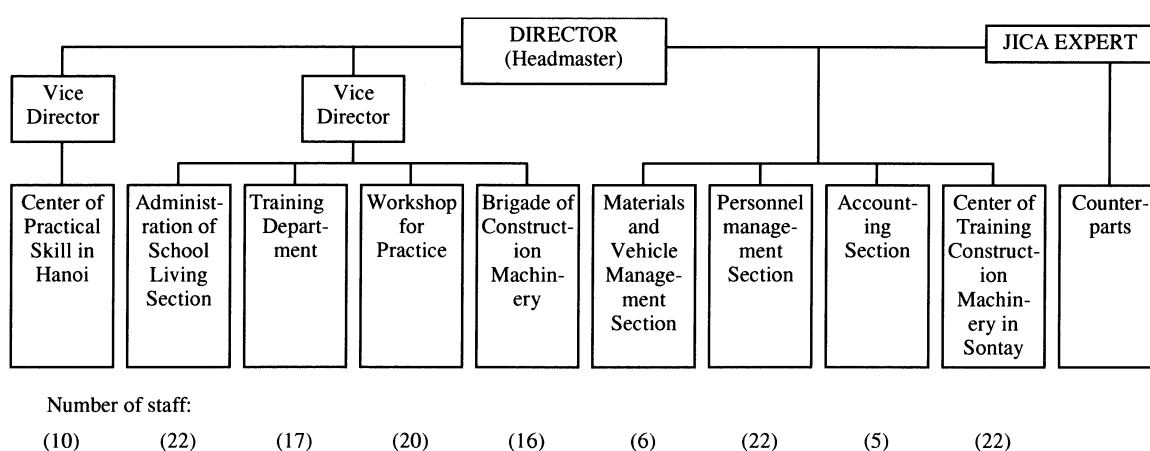
尚、本案件の実施にあたっては、MOT によって選出される TTPS-1 の校長を中心とした事業実施組織 (Project Management Unit) を設置することとなった。

## (2) 運営機関

現在の TTPS-1 の組織体制は、「ヴィ」国の他の職業訓練学校と同様に、校長と副校長 2 人を代表とし、合計 140 人のスタッフで構成している。そのうち、教職員は 81 人で、一般職員は 56 人である。以下に TTPS-1 の管理・運営体制の組織図を示す。

### 1) 管理・運営体制

TTPS-1 は、バビのソントイ本部とハノイ支部の大きく 2 つの組織から構成されている。ソントイ本部の管理・運営体制は、管理部門（校長の管轄）と訓練及び生活管理部門（副校長の管轄）に大別される。



Total staff (1998) : 1 (Director) + 2 (Vice Directors) + 137 (teachers and staffs) = 140

図 3-2 TTPS-1 の管理・運営組織図

管理部門には、ソントイセンター、経理課、人事課、及び資機材管理課の 4 課がある。一方、訓練、及び生活管理部門は、機械操作部隊、ワークショップ、訓練部、及び生活管理課の 4 課から構成されている。

施設機材の維持管理に関して、下表に示すような組織体制により実施されており、役割および責任範囲が明確になっている。教員・職員の人事管理については人事課が実施し、定期的な教職員のレベルチェックが行われており、うまく機能している。

役割		管理部門	学校生活管理課	資機材管理課	機械操作部隊	ワークショップ	専任教官
施設	維持管理		○				
	修繕				○		
設備	維持管理			○			
	修繕				○		
訓練用機材	ワークショップ用大型据付機材					○	
	コース別小物教材						○
	運転訓練用建設機械						○

一方、備品の購入は、予備品、及び修理用部品の2通りで行われている。どちらの場合も資機材管理課が校長の許可を得て購入しなければならない。校長は予算消費状況を配慮しながら決定を行う。学校の予算では対応できない場合、校長は MOT に状況を通告し、特別購入の予算を MOT に請求する。

## 2) スタッフ構成及び増員計画

TTPS-1 を統括している MOT は毎年、省付属の職業訓練校の活動状況から入学訓練生数と訓練校のスタッフの枠（訓練生数との比例）を決め、訓練校側に通告する。現在 TTPS-1 の訓練生数は 910 人で MOT から 146 人のスタッフ枠が確保されている。しかし、TTPS-1 は数人のスタッフが不足しているため、MOT は TTPS-1 の教員数を増やすために採用試験を実施している。本無償資金協力が実施された場合には、訓練生数が増加するため、スタッフ数も増員する計画となっているが、スタッフ増による TTPS-1 の支出増については MOT から TTPS-1 に対する補助金が増額されることを確認した。特に施設の保守、点検を担当するスタッフを新たに確保するよう TTPS-1 に対して依頼した。

表 3-4 TTPS-1 のスタッフ数

職種	人数	教員数
A. 校長	1	
B. 副校長	2	
C. ソンタイセンター	22	15
D. 経理課	5	5
E. 人事課	22	4
F. 資機材管理課	6	6
G. 機械操作部隊	16	16
H. ワークショップ	20	20
I. 訓練課	14	13
J. 生活管理課	22	0
K. ハノイセンター	10	2
Total	140	81

注) : \*1 出典/TTPS-1: 1999

### 3-4-2 運営予算

#### (1) 管理運営予算

TTPS-1 の運営予算の過去 5 年間の実績を表 3-5 に示す。

表 3-5 TTPS-1 の運営・管理予算 [千 VND]

	1996(実績)	1997(実績)	1998(実績)	1999(実績)	2000(実績)
収入の部					
MOT からの補助	2,817,600	3,384,000	3,379,000	3,750,000	4,125,000
学費	107,000	167,723	297,200	494,838	823,905
合計	2,924,600	3,551,723	3,658,200	4,244,938	4,948,905
支出の部					
給与・人件費	858,878	960,788	994,076	1,070,222	1,152,201
訓練生関連の支出	1,407,722	1,815,078	1,821,034	2,087,524	2,393,012
機材施設費	658,000	775,857	843,100	955,232	1,082,278
合計	2,924,600	3,551,723	3,658,200	4,112,978	4,627,491

(出典：TTPS-1 1999)

上記の通り、TTPS-1 は、その活動の拡大に伴って予算が増額されてきており、今後も毎年増額していくことが予定されている。本案件の実施後の 2002 年には施設の増設に伴う大幅な増額が予定されており、確実な運営・管理が期待される。

#### (2) 予算構成

「ヴィ」国の職業訓練校の運営予算は政府の規定により以下の 2 項目から構成される。

- 1) MOT から支給される年間予算
- 2) 訓練生からの学費

MOT から支給される年間予算は、他の職業訓練校と同様に訓練生 1 人当たり 4.3 mil. VND である。従って現在 910 人 (1999 年度) の訓練生に対して 3,750 mil. VND が MOT から支給されている。この予算はスタッフの人件費と TTPS-1 の主要な運営・管理費に使用されている。

一方、訓練生からの学費収入については、MOT の規定で 20,000VND/月～110,000VND/月の範囲で許可されている。TTPS-1 は、この規定に従い、オペレーター系訓練生から 60,000VND/月、メカニック系訓練生 40,000VND/月の学費を徴収している。年間の訓練生からの学費収入 (年 10 ヶ月) は約 300 mil. VND である。その内約 200 mil. VND は訓練生の奨学金に使用されている。

授業で使用していない間に保有建機をレンタルする等の営利活動の収入が不定期的にある。この営利活動収入の支出は、主にスタッフの基本給以外の生活手当として、就業日 1 日当たり 4,000VND を支給している。また、接待交際費としても使用されている。

表 3-11 に示した総予算は管理運営予算と現在 TTPS-1 で進行中の送電線ルート変更工事費等の追加予算から構成されている。管理運営予算は教職員の人件費、施設の維持管理費、訓練生の奨学金、水道光熱費等の運営費等から構成されている。

## (2) 開発予算

本無償資金協力の「ヴィ」国側の開発費は TTPS-1 の持つ一般予算では対応できないことを認識しており、MOT に対して特別予算を要請しなくてはならない。開発予算を得るために MOT、及び TTPS-1 は政府の案件許可を得るために事業化可能性調査 (FS: Feasibility Study) レポート (MOT、及び TTPS-1 作成) を政府へ提出する。本 FS レポートは交換公文 (E/N: Exchange of Notes) 締結までに「ヴィ」国政府から承認される必要がある。本案件のような新規案件の開発費は、政府から許可を受ければ「ヴィ」国の国家予算の国内分準備金から確保される。

表 3-6 開発予算

(Unit: US\$)

Item	Budget
(1) Site Preparation	8,570
a) Pre Construction Works	7,142
b) Ground preparation works	714
c) Temporary power and water supply for the construction	714
(2) External Works and Approach Roads	11,428
(3) Utilities and Facilities	16,785
a) Water Supply	1,785
b) Sewerage	2,143
c) Storm Drainage	1,429
d) Electrical Work	4,286
e) Telecommunication Work	7,142
(4) Others	357
(5) Extension and renovation of the existing Garages	11,344
(6) Furniture	7,142
Total	55,626

(出典：TTPS-1 1999)

### 3-4-3 要員・技術レベル

#### (1) スタッフ

2000年度採用予定は6人である。また、本案件完成後の増員計画は、既にMOTに依頼済みであり、了承を得ている。また、現在のTTPS-1の教員は最新の建設機械の知識や実務の経験が少ないスタッフが多いため、TTPS-1の訓練内容の質的向上を目指すためには組織拡大、スタッフ増員と共に各スタッフの質、技術レベル向上も今後の課題の1つであると考えられる。

これに対して、プロ技協ではカウンターパート研修が予定されており、進歩の著しい建設機械についての知識と技術を修得することにより、TTPS-1のスタッフのレベルが向上することが期待される。また、施設の保守・点検に携わるエンジニアの要員および技術レベルについても、TTPS-1およびMOTによる今後の準備が的確になされることが望まれる。

上述したように、プロジェクト実施にあつての「ヴィ」国側の要員・技術レベルについては、今後の「ヴィ」国側の準備、対応に期待する点が多く、本プロジェクト実施にあつてのキーポイントでもある。

#### (2) 専門家派遣

「ヴィ」国側は、日本側に対してリトレーニングプログラムで新設されるオペレーター・コース、メカニック・コース(エンジン)、メカニック・コース(シャシー)、スーパーバイザーコースの4コースの訓練について専門家派遣による協力を要請している。これに対応して、日本側はプロ技協により、2001年1月から5人の長期専門家(チーフ・アドバイザー、業務調整員、建設機械運転技術(オペレーター)、建設機械設備技術(メカニック)、道路施工監理技術)の派遣を計画している。